

「どこでも市長室」でいただいた意見等

日 時	平成 30 年 10 月 14 日（日）14:00～16:00		
会 場	高道祖市民センター 和室	申込団体名	高道祖地区子ども会育成連合会
参加者の意見 (1/4)	●幼稚園に入るタイミングで他市に異動してしまう人が多いです。その時に、下妻市では子どもの教育に力を入れているとか、明確なアピールポイントが言えたら、定住につながると思います。 ●子どもの数の割には、学校幼稚園の数が多いと思います。学校幼稚園は、人件費もかかっていると思うので、なくなる方向にないのでしょうか。学校幼稚園が学童保育も一緒にやってくれるといいと思います。 ●核家族の共働きの世帯が定住につながる取り組みが必要だと思います。子どもが病気した時の病児保育は無いし、託児センターの「うえるきっず」の対象条件を満たさない場合は、子どもをあずけられるところがありません。 ●学校幼稚園に入れたくても、兄弟の下の子が保育園に入りやすくするために、上の子がずっと保育園という人もいます。費用も安く、教育環境の良い幼稚園に行かせたくても、上の子を幼稚園に入れてしまうと、下の子が保育園に入れなくなってしまうことが課題です。 ●学童保育ですが、夏休みだけの利用とか、長期休暇期間だけの利用が出来ないのが不便だと思います。騰波ノ江は出来ませんが、あずかる学童や空き状況によって、学校ごとのサービスがばらばらになっています。 ●つくば市では、各地区の児童館で、夏休みの科学実験教室やお祭り等を行っています。母親クラブも連携しているので、児童館が母親クラブの拠点になっています。小学生が夏休みとかに自由に遊べるような、児童館のような拠点となる施設が必要だと思います。学校幼稚園を児童館のような施設に転換してもいいと思います。 ●PTAの研修会の際に「愛の鞭ゼロ作戦」が紹介され、子どものためと言いながら、結果的に、言葉の暴力で子どもを縛っていないですかというお話を聞きました。中学生の部活動の大会に行くと、子どもに暴言を放ち、目の前で指を指しながら指導する先生も見られ、子どもの気持ちも揺らいでいる成長期に行う指導としては、疑問に思います。職場巡視のように、校長先生等の人事権のある方に部活動の現場を見ていただくようにしてください。		

参加者の意見 (2/4)	●学校での性教育の際に、もう少し踏み込んで、避妊具の使い方とか、望まぬ妊娠を避けるための心の教育の重要性等、それぞれの専門性を持った方から教えていただく機会を設けていただきたいと思います。 ●「NPO法人ままと一ん」が行っている赤ちゃんを学校に連れて行く活動に参加しています。実際に、赤ちゃんを見てもらい、赤ちゃんは大事だし、いい加減に妊娠・出産するのはすごく大変だよということを伝える活動です。2学期は水海道一高・二高や古河二高、つくば市の中学校に行きますが、下妻市内でやっているのを聞いたことがないので、遅れている気がします。 ●発達障害の相談に行くと、すぐには診断をもらえず、いつもグレーゾーンで様子をみましようと言われ、終わってしまいます。グレーゾーンだからこそ、親は不安な気持ちで、療育や支援を求めています。支援を求めていることに対して、幅広く対応するのが療育の定義だと思うので、もう少し、支援の幅を広げてもらえればと思います。 ●発達障害の相談や対応は、保健師さんの専門が療育じゃなければ、例えば、児童相談所に相談してみるとか、選択肢はいくつもあると思います。それらの情報を集約して、関係する情報をお互いに連携するネットワークを市民に還元するというのが大事だと思います。 ●発達障害の親の会が、下妻市にはありません。発達障害の親の会を支援していただいて、作っていただけたらいいと思います。 ●市議会の動画配信をお願いします。まずは、関心を持ってもらって、足を運んでもらう人を増やさなければ、声が出ないです。守谷市、常総市、つくば市、水戸市等は動画配信を行っています。市民のために動いてくれる人を選挙で選ぶためにも、早急にやってもらいたいです。 ●ボランティア活動について、目的達成ができる仕組みにしたほうがいいと思います。ボランティアの人に、目的と達成を数値目標で伝えて、必要だったら、スポット的にお金を払うのはどうでしょうか。行政の力だけでは、人も足りないのであれば、ボランティアをやってくれる人に、きちんと対価を払ったほうが、目的達成につながるのではないかなと感じます。
-----------------	---

参加者の意見
(3/4)

- 小学生のランドセルが重いので、勉強道具や教科書を学校に置いていけるように「置き勉」の指示を出してください。文科省が言っているのに、学校レベルでは、「置いていっていいよ」と先生から言われません。市長から教育長に言っていて、教育長から全部の学校に言っていただけだと思います。中学生の荷物も重いので、自転車で登下校する際は、事故に直結すると思います。
- 小学生に外遊びや実体験をさせたいのですが、宿題が多いため、出来ません。家庭学習カードも、60分のうちにたくさんできる子もいれば、一日たってもできない子もいます。子どもは、真面目なので、先生が「やらなくてもいいよ」と言わないと、やろうとします。みんなと同じようにやりたい、でも、できないということもあるので、宿題を減らして欲しいです。
- 小さい頃から、大人とふれあう時間をもっと増やし、様々な体験ができる機会や教育環境を目指していただきたいと思います。
- 人と人がつながり社会を作る力「社会力」について、大人から子どもまで、全ての市民が社会力をつける教育を目指していくと、市が活性化するのではないかと思います。
- 「放課後子供教室推進事業」(地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得て、放課後等に全ての子供を対象とした学習支援や多様なプログラムを実施する取り組み)が行われていないので、子ども達が学校から帰って来ると、遊びに行くところがありません。高道祖市民センターの公園は小さくて、あまり遊べる感じではないです。子どもが歩きか自転車で行けるような遊べる場所があるといいと思います。
- 筑西市の「五郎助山」というところで子どもを遊ばせていますが、この辺だと、森の中が整備されていないので、入れません。高道祖に焚き火ができる冒険遊び場を作って、子どもが外でたくさん遊べるようにしたいです。ボランティアでは厳しいので、新たな仕事を作り出し、稼げる仕事にできたらいいなと思います。

参加者の意見 (4/4)	●発達障害の相談員とか、療育できる人とか、学習支援員とか、そこが一番手薄で、一番必要なところで、一番お金をかけていい場所だと思います。未来を作るのは子ども達なので、未来に投資するという意味からも、子どもにお金を是非かけて欲しいです。 ●子どもが小さい時は、悩みがたくさん出てきます。世田谷区に「ネウボラ」という制度があり、妊娠した時点から保健師さんがずっとみてくれる体制になっています。「これはどうしたらいいの？」に対して「あの人に相談」とか、「あそことあそこに行けばいいよ」とコーディネートしてくれる人が必ず付くという制度で、それを下妻市でも導入してもらいたいです ●砂沼サンビーチは行きたいけど、お金が無いから、どうしたら良いでしょうか？子どもが遊ぶ施設を減らすというのはダメだというのが、うちの子どもの意見です。
-------------------------	---

市民協働課 扱